

就労訓練事業受入状況

平成 28 年から受け入れを開始して、これまでに 8 名の方々が、社会に出る前の訓練の場としてフロンティアの施設で就労訓練を行って来ました。

それぞれ 3 ヶ月毎のプログラムの見直しを行い、一般就労に結びつく方、継続する方、ボランティアを望む方と様々です。

この春、フロンティアで仕事をしてみようと歩き始めた方を紹介します。

Q、社会に出ようと思われたきっかけは？

A、 15 年ほど前から持病により、職に就かず引きこもりの生活でした。

ある時、自分の不注意から 3 ヶ月間の入院生活を送る事になりました。

そこで多くのあらゆる立場の方々から励ましを頂きました。そしてふと目に止まった新聞記事を読んで、同じ悩みを持つ人の勇気になれるならと一歩踏み出す勇気が湧きました。退院後、社協で出会った社会福祉士の方が、長年絡みあった糸を解くように、思いを汲み取り奔走して下さり、フロンティアでの就業訓練に辿り着きました。きっかけは、多くの人たちとの出会いでした。

Q、 就業訓練先をフロンティアに選んだ理由は？

A、 事前面談の際に、お会いした職員の方々の暖かい笑顔です。

Q、 就業訓練中に辛かった事、困った事、嬉しかった事は？

A、 訓練中は事業所にいるすべての職員さんから、まめに声をかけて頂き不安なく、居心地良く続ける事が出来ました。

作業の中には、苦手意識がありこれまで避けてきたこともありましたが「訓練だから、失敗しても良いですよ！」との言葉で挑戦してみたところ思いの外上手くでき、新たな自分の一面を発見することができました。

Q、 いつ頃から、高齢者施設で働きたいと思いましたか？

A、 訓練を始めて一ヶ月も経たないうちから、訓練後もここで働けたらと感じていました。高齢者施設という緊張感のある中でも、職員の方々から周囲に配慮とユーモアを欠かさないアットホームな雰囲気を感じたからです。

Q、 これからの目標は？

A、 業務内容を逸早く理解し、誰からも気兼ねなく声をかけてもらえる存在になりたいと思います。